



第二回

# エコ貯金フォーラム

～口座を変えれば世界が変わる～

報告書





## まえがき

A SEED JAPANエコ貯金プロジェクトでは、「環境や社会に配慮したお金の流れをつくる貯金スタイル」＝「エコ貯金」を広めるために、これまでWEB「エコ貯金ナビ」を通じた情報発信や、金融機関のCSRに関する調査や提言を行ってきました。

その一環として2004年1月に開催した「第1回エコ貯金フォーラム＊」では、基調講演に慶應義塾大学経済学部教授 金子勝氏、高崎経済大学助教授 水口剛氏をお招きし、環境に配慮した金融のあり方とその社会的背景について学ぶとともに、分科会でのエコ貯金の実践者、推進者とのディスカッションを通じて、エコ貯金の今後の課題と可能性を具体的に知ることができました。

この第1回フォーラムの成果を元に、エコ貯金プロジェクトメンバー間で数多く議論を重ね、「預金者のアクションをより強く促し、さらに金融機関の社会的責任（CSR）を求めていくために、預金者視点に立ったフォーラムをもう一度開催する必要がある」との結論に達しました。課題や可能性を整理するだけでなく、その先にあるはずの「預金者の具体的な行動」と「金融機関との対話」を実現しなければ、エコ貯金も単なる理念に終わってしまう、と考えたからです。

そこで、第1回フォーラムから約1年半を経て、この2005年4月に、金融機関のCSRと預金者の行動をテーマに、「第2回エコ貯金フォーラム ～口座を変えれば世界が変わる～」を開催することとなりました。このフォーラムは預金者に対して「口座を変える」というアクションを促すアースディ企画「3億円のエコ貯金アクション」とも連動し、エコ貯金というライフスタイル変革を強く推し進める狙いがありました。

フォーラム当日は、各地から老若男女問わず120名もの参加者が集まり、会場が熱気に包まれる中、無事開催の運びとなりました。

フォーラムは、A SEED JAPANから「エコ貯金」の定義や預金者の役割についてのプレゼンテーションでスタート。

続く基調講演では、「金融CSR」や「市民金融」の最新の動向について記事を執筆されている日本経済新聞編集委員 藤井良広氏から、金融機関が担うべき社会的責任の本質や、NPOバンクを始めとする、近年の市民金融の広がり背景、預金者が行動することの意義についてお話しいただきました。深い知識に裏付けられた力強いメッセージは、預金者のみならず金融機関の方々にも感銘を与えたのではないのでしょうか。

メインプログラムであるパネルディスカッションでは、メガバンクからNPOバンクまで、それぞれの業態の中でCSRを推進している方々にお集まりいただき、それぞれの最先端の取組みを紹介いただくとともに、社会的な問題にまで踏み込んだディスカッションが繰り広げられました。まさに、市民と金融機関との対話の第一歩となる貴重なパネルだったと感じています。

最後に、A SEED JAPANから「預金者へのアクションアピール」を行い、「金融意識」と「エコ意識」の両方を兼ね備えることが、これからのライフスタイル変革、そして金融機関を変えることにつながることをアピールしました。

そしてこの度、この貴重なフォーラムの成果を詳細な報告書としてとりまとめ、WEB上で公開することとなりました。当日会場に来られなかった方も、ご一読いただければ、エコ貯金の背景、考え方から、金融機関のCSRの本質とその最先端での取り組みまで理解していただけるものと考えています。この報告書によって、多くの市民の方々、また金融機関の方々が共に考え、行動していく「きっかけ」が生まれることを願っています。

A SEED JAPAN エコ貯金プロジェクト一同

【注】以下の報告書の文中、意見に係る部分は講演者・出席者の個人的見解であり、所属する組織の見解を必ずしも代表するものではありません。

(※) 第1回エコ貯金フォーラム報告書はこちら

<http://www.aseed.org/ecocho/topic/forumreport/report.htm>

# 第 2 回 エコ貯金フォーラム

## ～口座を変えれば世界が変わる～

### 【報告書目次】

1. まえがき	3
2. プログラム	6
3. オープニング「エコ貯金と預金者の役割」	7
はじめに	
エコ貯金の背景～企業社会の進展と企業の社会的責任（CSR）～	
エコ貯金とは？	
私たちが金融機関に望むこと	
おわりに	
4. 基調講演「金融CSRと市民金融を預金者はいかに考えるか」	15
「金融CSR」の本質	
～本業（＝投融資）を通じた社会貢献～	
日本における市民金融の系譜	
～「講」、協同組合、そしてNPOバンク～	
金融CSRと市民金融のリンク	
～金融のプロの参画を～	
金融商品の需要側と供給側、その相互作用と先にあるもの	
～「市民の視線」が銀行を変える～	
「みんな、気づいている。だから、行動へ」	
5. パネルディスカッション「預金者が選び、参加し、創る銀行」	25
金融機関のCSRについてのメッセージ	
金融機関のスクリーニング（融資先のふるいわけ）について	
社会事業への資金循環について	
預金者へのメッセージ	
6. フィナーレ「預金者へのアクションアピール」	46